
人の一生

ラーメン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人の一生

【NZコード】

N3714D

【作者名】 ラーメン

【あらすじ】

母親に逢いたい。そんな強い意志を持つある一人の少年のさまざまな人生を描いた切ない物語。

(前書き)

人生の大切さを知つて下さい。

僕の名前は剣那。

僕は岐阜県に生まれた。

僕は四人兄弟の長男である。

父親と母親は毎日喧嘩ばかりだ。

ちなみに母親はフィリピン人だ。

父親は先日僕の本当の母親と離婚した。

そして新しいお母さんが来た。

家族で僕と血のつながりがあるのは父親だけである。

兄弟は皆フィリピン人の血が流れたハーフだ。

18年前母親は家を出た。

その日から僕は変わったらしい。

完璧に物心がついた今、母親に逢いたいと強く願った。

どうやら母親は今火星に住んでるらしい。

僕は火星に行く事を決意した。

どうやつて行くか迷う事なく僕は家に置き手紙を残して真夜中に家を出た。

てぶらで家を出てとりあえずチャリをこいた。

チャリに乗り火星へと向かつた。

とにかく地球という星の果てを探した。

真っ直ぐ行けば地球の果てでは見付かるはず。

そう、強く信じた。

チャリをこいて寝ないで3日間、海についた。

僕は泳いだ。

泳いで泳いでやっと陸地に付いた。

そこは北朝鮮であった。

金正日が僕を撃ち殺そうとしていた。

そして撃たれた。

良かつた・・防弾ジヨツキを付けていて・・ホツとして逃げた。

とりあえずタクシーで逃げた。

北朝鮮のタクシーは非常に発展している。

どこでも連れて行つてくれるらしい。

とりあえず僕は行つた。

火星までお願いします。

運転手が行つた。

アーヨハセヨ！！火星についた。

まさか本当に火星に連れて行つてくれるとは思つていた。

しかし連れて行つてくれた。

火星にはピカチュウとヒトカゲがいた。

母親もいた。

母親はポケモントレーナーになつていた。

母親の話によると離婚の理由はポケモントレーナーになりたかった

母親は父親に反対されてそれで喧嘩になり家を出たらしい。

母親はかみなりの石でピカチュウをライチュウにした。僕はショックを受けて火星という星を出た。そして水星という星に住処を作つた。母親はライチュウを連れて水星に引つ越して來た。刹那、一緒に暮らそう。と母親は言つ。ヒトカゲは死んだらしい。原因是ノロウイルスらしい。葬式を終えて一段落したから引つ越して來たと母親は言つ。母親を信じられなくなつた僕はとりあえず寝た。

ここが宇宙だと言う事など忘れて寝た。

呼吸が出来ない事など忘れていた。

母親の話によると僕は死んだらしい。今でも信じられない。葬式は

地元岐阜県で行われた。母親も参列してくれた。僕は嬉しかつた。

火葬場で僕は泣いた。火葬場で氣付いた。僕・・・まだ生きてるじやん！この状況・・免れる事は不可能だつた。僕は焼かれた。人肉として喰われたらしい。胃で消化され人生とばいばいした。

(後書き)

人生・・・とても呆気ない物です。だから必死に生きて下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3714d/>

人の一生

2010年12月19日02時44分発行